

# 基礎学力テスト『みんなでドリル(通称：みんどり)』 (基礎・基本の定着を目指す取組)

【久喜市教育委員会】

## 1 活動のねらい

全校で共通の取組を計画的・継続的に実施することにより、生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図る。また、生徒の学習意欲を喚起させるとともに「やればできる」という達成感、成就感を味わわせる。

## 2 活動実践

### 1 活動の留意点と取組計画

#### (1) 課題について

国数社理英の5教科からローテーションで課題を用意し、テスト実施2週間～10日前までに配布する。課題は、やれば全員が満点を取れる質と量を配慮して作成し、生徒が取り組みやすい形式にする。国語ならば「漢字の書き取り」、数学は「基本的な計算」社会・理科は「重要事項や重要語句」、英語は「単語の書き取り」等を復習することで、その成果が期待できることが大切である。また、内容については、できるだけ定期テストとリンクさせる。

#### (2) 確認テストについて

学活や帰りの会等を利用し、15～20分程度で行う。採点は、学年教師で協力して行い、名簿に記入する。合格点は80点とし、満点獲得者や合格者については、学年便りや学年掲示板等で発表し、努力をお互いに賞賛する。

#### (3) 事後指導について

不合格の生徒には再テストを実施し、できるだけ多くの生徒が合格する機会をつくる。個別指導が必要な生徒については、学年教師が放課後に行い、同じ課題で定着を目指す。

### 2 各学年のテスト結果(平成25年度1学期実施分) ※数字は合格率(%)

	国語	数学	社会	理科	英語
1学年	86.2	86.0	86.0	75.5	70.0
2学年	94.1	87.3	90.5	97.8	90.4
3学年	70.3	81.6	82.6	82.6	77.9

## 3 成果と課題

テストの難易度が大きく影響していると思うが、どの教科もほぼ80%以上の生徒が合格する結果となった。定期テストや実力テストでは思うような結果が出ないが、「みんどり」では満点を取り続け、学年便りや掲示板に名前が載ることを励みにしている生徒が多数おり、学習が苦手な生徒の「意欲の喚起」「基礎基本の定着」という点では大きな成果といえる。また、休み時間や放課後等のわずかな時間を使って学習したり生徒同士が助け合ったりする場面が増えた、家庭学習の習慣化につながったなどの相乗効果も見られた。

今後の課題は、各テストで低得点での不合格者に対しての個別指導をどのように行っていくかである。すべての生徒に「やればできる」という達成感を味わわせるために、もう一度取組を見直し、工夫改善を続けていきたい。